



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	アパホテル(静岡駅北)増築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★

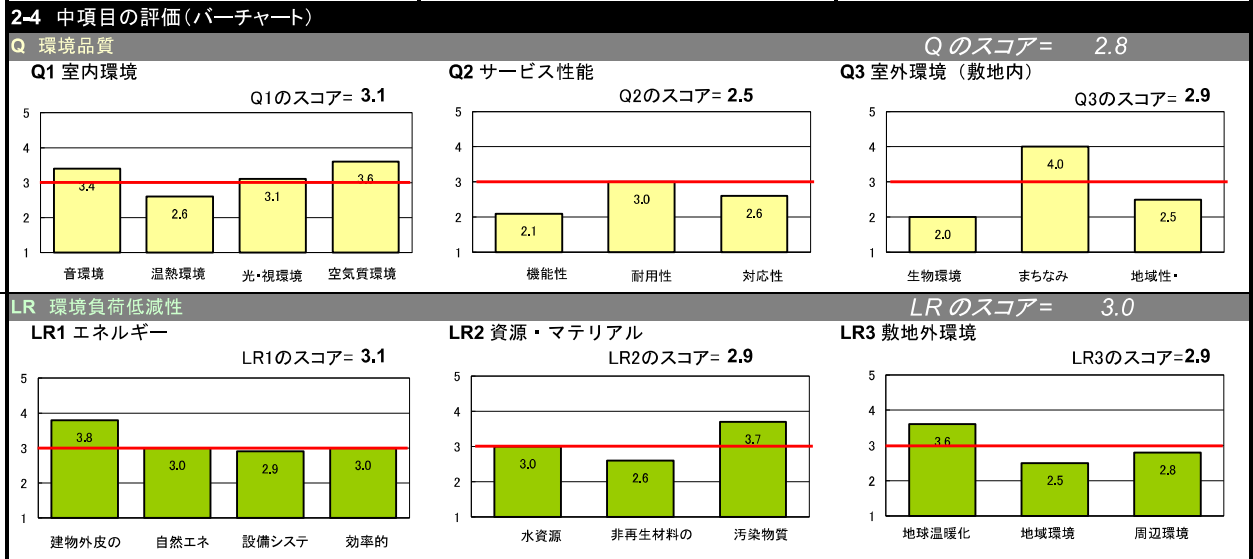
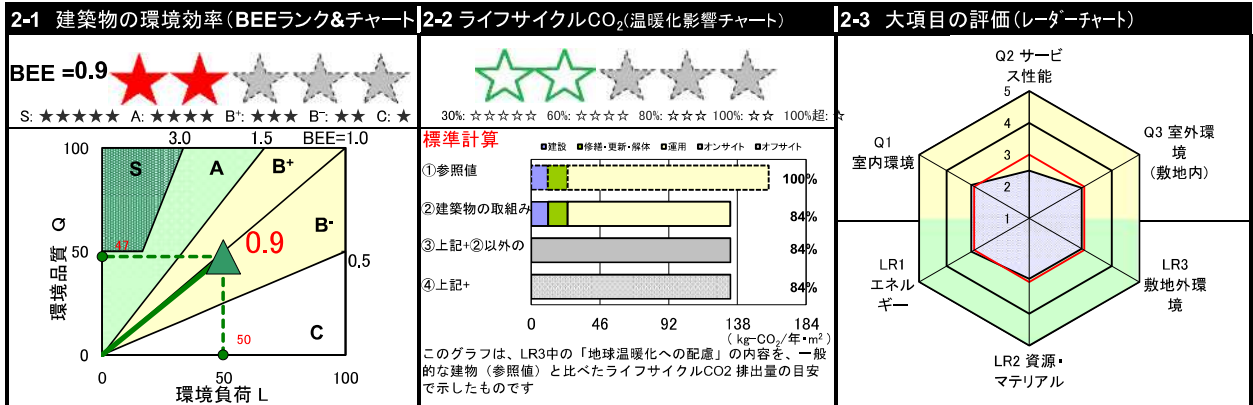
2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつつ		がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0 /5		ふつつ		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 /5		ふつつ		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4 /5		がんばろう		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点				3.0	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①耐用年数が高い内装仕上げ材を使用している。 ②耐用年数が高い給排水配管材を使用している。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
				3.2	3.2.1	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ③外皮性能が高い。 ④BEIm=0.81。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
			2			⑧	自然エネルギー利用
			3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑤LGSを使用している。 ⑥ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。	LR-2	1	1.1		⑪	節水
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
			2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
					2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
					2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
					2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
					2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材
					2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
			3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤
				3.2.2		⑬	断熱材
				3.2.3		⑬	冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑦ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点				3.0	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑧耐震クラスAを使用している。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
					2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑰	電気設備
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
				2.4.5	⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点				3.0	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
					3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点				2.4	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑨建物高さ、壁面位置、外装・屋根の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			2			㉒	まちなみ景観への配慮
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	アパホテル(静岡駅北)増築工事	階数	地上14F
建設地	静岡県静岡市葵区昭和町4-5-9	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年2月20日
敷地面積	460㎡	作成者	野々田 弥
建築面積	233㎡	確認日	2020年02月26日
延床面積	3,523㎡	確認者	元谷外志雄



3 設計上の配慮事項		
総合 CASBEE静岡2016年版による評価結果です。 耐用年数の高い材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、緑づくり取り組み、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能T-2。そして、共用部昼光率15.5%、専用部(客室)昼光率1.42%、客室の自然換気有効開口面積が客室床面積の1/15以上。また、F☆☆☆☆を使用している。	Q2 サービス性能 耐用年数が高い内装仕上げ材、給排水配管材を使用している。そして、耐震クラスA。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さ、壁面位置、外装・屋根の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー 外皮性能が高い。BEIm=0.81。	LR2 資源・マテリアル LGSを使用している。ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される